



# JR東労組仙台地方本部 「第40回定期地方委員会」開催

## 【スローガン】

- 一、20春闘勝利！雇用確保と年功賃金を守り、  
全組合員参加の運動を通じて要求を実現させよう！
- 一、安全で働きがいのある職場をつくり上げるために、  
分裂策動を許さず、更なる組織強化・拡大を実現させよう！

2月15日（土）仙台市戦災復興記念館において仙台地本「第40回定期地方委員会」を開催し、本部「第46回定期中央委員会」で確認した「新生JR東労組運動宣言」を基礎に仙台地本としての方針を満場一致確認し、新たな仙台地本のスタートを切りました。

今定期委員会では組織強化拡大を通じた教訓的な職場のたたかひの発言が多く、着実に運動を前進させてきた成果を確認する事が出来ました。「職場の雰囲気は悪くなったが、東労組の空気は以前に増して良くなった」「分会長の転勤の辛さを乗り越えてきた仲間の絆は一層深くなった」「本当のスタートはこれから。今が勝負時。コミュニケーションを更に高めて、真の団結を強化していく」などの発言にこれまでのたたかひの前進が表れています。また、職場からの声で要員問題について具体的なデータの提示と、繰り返しの議論を積み重ね、団体交渉に反映させて、会社から要員問題に関する具体的な見解を引き出すことが出来た教訓的な発言もありました。変革2027でのこれから迎える施策については引き続き職場検証運動を通じて、安全で働きがいのある職場をつくり出す決意がされました。現在行われてる職場の36代表選挙ではJR東労組の代表を擁立し、たたかひをつくり出しています。締結期間中に代表者が転勤するという困難を乗り越えて、より強固な組合員同士の団結を固めている分会もあります。組織強化拡大の取り組みはJR東労組の未来をかけたたたかひです。一人でも多くの仲間を迎え入れる事が出来るよう、地本としても奮闘していきます。

分裂策動は決して許されるものではありません。仙台地本としても全職場から仲間と共に歩んで行くことを確認しています。「この怒りは一生忘れない」「今こそ部会やサークルの横の繋がりが重要。意思する仲間と共にJR東労組の旗を守り抜く」など全ての委員が今回の分裂策動に対する怒りと自らが何を成すべきかについて発言しました。私たちは時代認識を決して誤ることなく、嘘や誤魔化しを許さず、組合員の雇用と利益を守る為に全組合員で引き続きたたかひをつくり出していきます！

